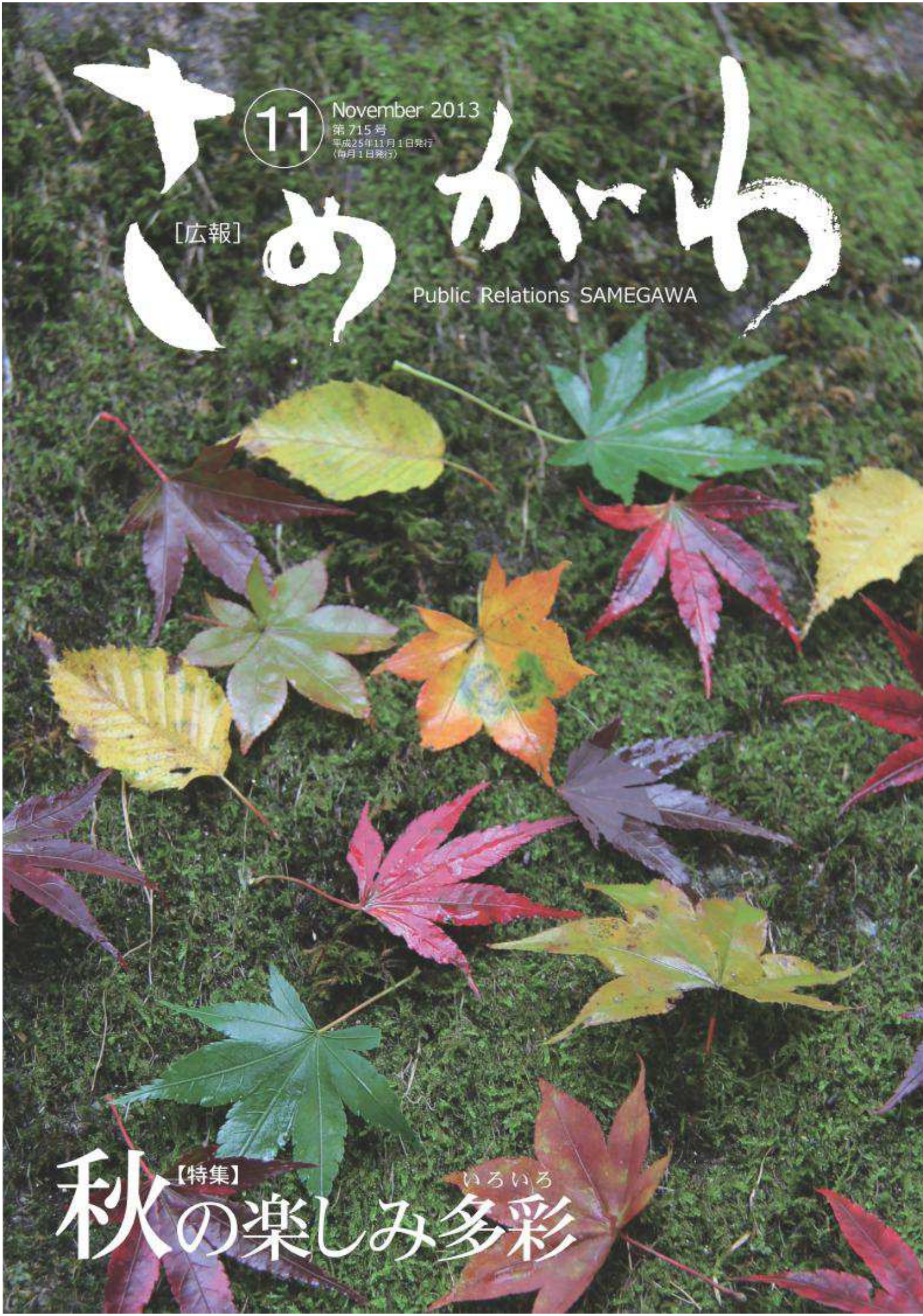
11
November 2013
第715号
平成25年11月1日発行
（毎月1日発行）

さめがわ

［広報］

Public Relations SAMEGAWA



【特集】

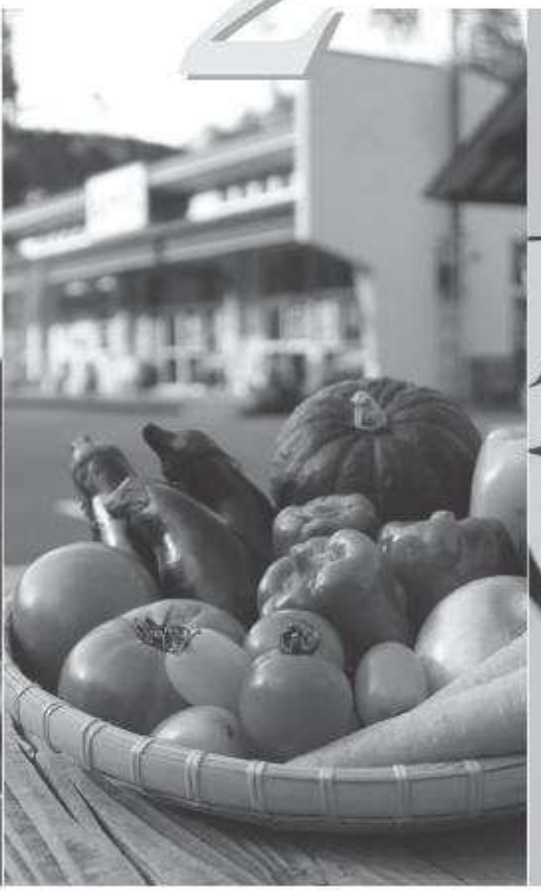
秋の楽しみ多彩（いろいろ）

3



スポーツ

2



食欲

1



芸術・文化

秋【特集】の楽しみ多彩（いろいろ）

秋と言えば、「芸術の秋」や「食欲の秋」、「スポーツの秋」などと言われるように、さまざまな分野に適した季節とされています。そんな秋を満喫できる催しが目白押しなのが11月。今月号では、その一部をご紹介します。皆さんは、どのように秋を楽しみますか？

November
文化祭月間

鮫川村文化祭
文化の灯を絶やさず村おこしにつなげていく

文化祭行事

11月3日㊐　▶場所…公民館（大集会室）
◇第18回村少年主張大会　▶時間…午前９時～
◇第12回音楽発表会　▶時間…午前10時45分ごろ～
問 村青少年健全育成推進協議会・村教育委員会☎49-3151

11月4日㊊㊗
◇奥の鮫川俳句会　▶時間…午後０時30分～午後４時30分
▶場所…公民館（１階会議室）
問 奥の鮫川俳句会（村公民館内）☎49-3151

11月23日㊏㊗
◇ふる里文化芸能クラブ発表会　▶時間…午前９時30分～午後３時
▶場所…公民館（大集会室）
問 ふる里文化芸能クラブ（村公民館内）☎49-3151

12月1日㊐
◇奥の鮫川短歌会　▶時間…午前９時30分～午後３時
▶場所…公民館（大集会室）
問 奥の鮫川短歌会（村公民館内）☎49-3151

11月29日㊎～12月3日㊋
◇文化祭作品展示　▶時間…午前９時～午後５時　※最終日は正午まで
▶場所…公民館（大集会室など）
問 村教育委員会教育課☎49-3151

多くの文化祭行事が開かれる十一月は、芸術・文化に触れる絶好の機会です。

村文化団体連絡協議会の会長を務める北條平さん。村内で活動する文化団体や愛好会などの八つの団体が所属し、そのまとめ役となり各団体の活動を支援しています。また、「奥の鮫川短歌会」の代表も務め、文化の灯を絶やすまいと精力的に活動しています。

「夢中になれるものがあるということは、人生の支えになります。年を重ねたときこそ、必要になってくると思います」と芸術・文化の必要性を訴えます。

また、芸術・文化活動をしている人たちにとって、文化行事などで発表の場があるということは、目標や励みになると話します。これらの活動を通して、文化の香りを漂わせ村おこしにつなげたいと意欲的です。



北條 平さん
村文化団体連絡協議会長

実りの秋を迎え、米や農産物が収穫され、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」にも多くの新鮮な野菜などが並ぶ季節です。おいしいものが増えると、自然と食欲も増します。

平成十七年にオープンした「手・まめ・館」も、十一月で八周年を迎え、恒例となっている「感謝祭」が開催されます。毎年、村内外から多くのお客さんが訪れ、にぎわいを見せています。

直売所

◇お楽しみ抽選会コーナー　午前11時～午後４時

感謝祭スタンプカードに、お買い上げ金額100円ごとにスタンプを１個押します。スタンプが10個たまると抽選が１回できます。空くじなしで、特産品をプレゼントします。

◇野菜と味噌の特売コーナー

農産物と「達者の味噌（米麹）」を感謝祭特別価格で販売

食堂

◇ワンコインバイキング　午前11時～午後２時

500円で味わえる鮫川村の秋の味覚。サラダ・ドリンクバー付きのバイキングでお楽しみください。

手まめcafe

◇人気の天然酵母パンを感謝祭特別価格で販売

・切り株パン（プレーン）300円▷250円
・切り株パン（チーズ、クランベリー）400円▷300円
・ミニエゴマメロンパン５個入り　300円

※数に限りがありますので、なくなり次第終了となります。

11/23 SAT

手・まめ・館　８周年感謝祭

鮫川村の秋の味覚を満喫 日頃のご愛顧に感謝

「毎年、お楽しみ抽選会やワンコインバイキングが好評で、それを楽しみに来てくれるお客さんが多いです」と、イベントの目玉を教えてくれた館長代理を務める岡崎良一さん。焼きそばや焼きとりなどの販売や小学生以下にはポン菓子をプレゼントするなど内容が充実しています。

「鮫川村の秋の味覚を満喫できるイベントです。多くのお客様のご来店をお待ちしております」。



岡崎良一さん
「手・まめ・館」館長代理

●村農産物加工・直売所「手・まめ・館」
営直売所…午前９時～午後６時
　食堂…午前11時～午後２時
休毎月第１水曜日、１月１日・２日
☎49-2556

●手まめcafe
営午前10時～午後６時
休水・木曜日（祝日の場合は営業します）、１月１日～３日
☎49-3234

スポーツ
Sports

11/17 SUN

ふくしま駅伝　午前7時40分スタート

若い力とベテランの力を融合させ上位を目指す

団長

水野博和
村体育協会会長

コーチ

蛭田清代枝
村スポーツ推進員

コーチ

目黒信一
村スポーツ推進員

1区

湯坐彩香
鮫川中３年

2区

目黒　翔
学法石川高３年

3区

目黒　司
鮫川中３年

4区

矢吹潤平
神奈川大２年

5区

芳賀悠介
白河高１年

6区

前田大樹
棚倉消防署鮫川分署

7区

須藤康太
鮫川中３年

8区

芳賀弘康
鮫川中３年

9区

岡部花歩
鮫川中２年

10区

阿久津好貴
松蔭大１年

11区

緑川春香
鮫川中3年

12区

鈴木　悟
鮫川たんぽぽの家

13区

圓井靖彦
陸上自衛隊郡山駐屯地

14区

三瓶浩斗
鮫川中３年

15区

薄井　渉
鮫川中３年

16区

圓井敏彦
福島総合警備保障

控え

小山田忠吉
陸上自衛隊朝霞駐屯地

控え

鈴木　蓮
鮫川中３年

控え

薄葉和奏
鮫川中２年

控え

増子美咲
鮫川中２年

控え

関根美可
鮫川中１年

控え

矢吹瑞樹
鮫川中１年

涼しい気候の秋、スポーツで汗を流すのに心地よい季節です。鮫川村でも、各地区で球技大会などが行われました。

十一月といえば、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が恒例となっています。二十五回目の開催となる今大会は十一月十七日(日)、白河市陸上競技場をスタート、県庁前をゴールとする十六区間、九十五・一㌔のコースで開催されます。

監督として選手を指導する阿久津光市さんは、「登録選手二十二人中十三人が中学生という若い力を中心としたチームです。それを高校生から一般までのベテランが引っ張っていくようなチーム作りを心がけてきました」と話します。「選手層が厚い市や町に対しても負けない選手たちの走りに注目してほしい。一人一人がベストを出せば昨年以上の成績を出せる」とチームの士気は高まっています。


阿久津光市さん
ふくしま駅伝鮫川チーム監督

平成24年度決算報告

むらの家計簿

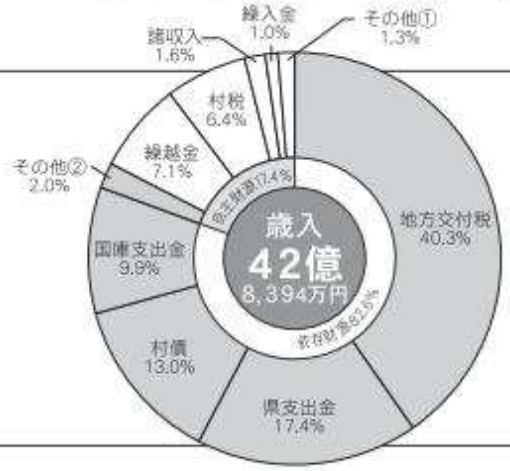
村の平成24年度の決算がまとまり、９月中旬に行われた第５回村議会定例会で認定されました。一般会計は、歳入が42億8,394万円、歳出が41億４,478万円で１億３,916万円の黒字となりました。今月は、平成24年度決算のあらましをお知らせします。

一般会計 歳入
村債や補助金が伸び依存財源が約83％に

一般会計の歳入総額は、前年度と比較すると１億４７５０万円（３・６％）の増額となりました。これは、村債や国庫支出金、県支出金などが増えたことによります。

自主財源の中で最も多いのは、23年度からの繰越金で、前年度より５３１７万円（14・９％）の減額となりました。続いて、村税が前年度より４５１万円（１・７％）の増額。これは、復興関連事業に携わる法人の所得増により、法人村民税が増加したことなどによるものです。

次に、歳入全体の８割超を占める依存財源では、そのおよそ半分が地方交付税です。24年度は、国の補正予算の成立による交付税総額の増額や制度改正に伴い普通交付税が増額されたものの、特別交付税と震災復興特別交付税が減額となったため、前年度より１億３２８２万円（７・１％）の減額となりました。また、国庫支出金は３１６８万円（８・１％）の増額、県支出金は８０１２万円（12・０％）の増額となりました。国庫支出金の増額は、23年度からの繰越事業の補助金が事業の完了に伴い収入となったためで、県支出金の増額は、新たに県南・会津・南会津地域給付金給付事業交付金やブランド・イメージ回復支援市町村交付金、除染対策事業交付金などが増えたことによります。



一般会計 歳出
防災無線のデジタル化で消防費が約４４０％増

歳出総額は前年度に比べて３億１１５０万円（８・１％）の増額となりました。

総務費が前年度より１億２０４

■会計別決算の状況

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		42億8,394万円	41億4,478万円	1億3,916万円
特別会計		13億4,826万円	13億538万円	4,287万円
国民健康保険	事業勘定	5億2,461万円	5億730万円	1,731万円
	直診勘定	7,836万円	7,022万円	814万円
簡易水道事業		1億584万円	1億571万円	13万円
村営バス事業		1,131万円	1,053万円	78万円
集落排水事業		3,130万円	3,005万円	125万円
介護保険		4億2,585万円	4億1,436万円	1,149万円
交流施設		1,624万円	1,463万円	161万円
学校給食センター		1億2,067万円	1億1,868万円	199万円
後期高齢者医療		3,406万円	3,390万円	15万円
決算総額		56億3,220万円	54億5,016万円	1億8,204万円

お金の使いみち

村では、原発事故による放射能汚染から村民の健康を守り自然環境を再生するため、前例や慣例にとらわれることなく全ての事務事業を見直し、費用対効果を見極めて、第三次鮫川村振興計画に基づいた四つの基本政策を展開する事業を進めてきました。

平成24年度に実施した主な事業をご紹介します。



防災行政デジタル無線整備事業
５億6,741万円

災害発生時などに情報伝達手段として活用されている防災行政無線。これまでのアナログ方式からデジタル方式に更新して通信体制の強化を図りました。

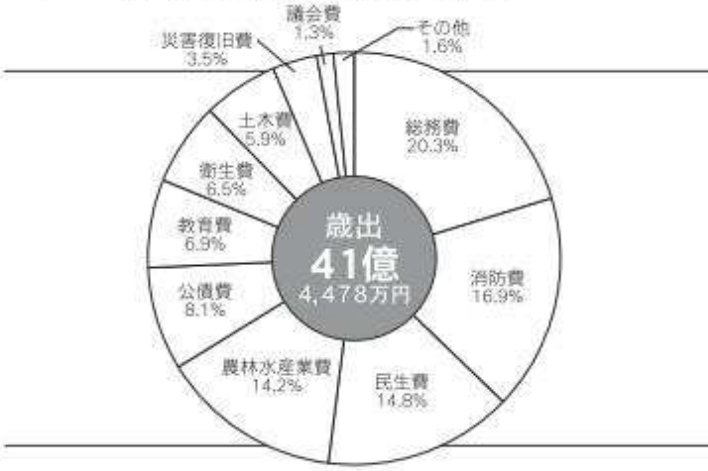


広畑団地建替事業
9,803万円

老朽化が進んでいた広畑団地を建て替えました。

平成24年度は、木造平屋建て３棟７戸を整備しました。

0万円（16・7％）の増額となり、全体の20・3％を占めました。次いで、消防費が5億7022万円（440・5％）の増額、民生費が1億9385万円（24・1％）の減額となりました。総務費の増額は、県南・会津・南会津地域給付金給付事業交付金などを活用した事業を行ったことによる支出が増加したためで、消防費の増は、防災行政デジタル無線整備事業を行ったためです。また、民生費の減額は、23年度に村民保養施設「さぎり荘」整備事業が完了したためです。



別計特会
全会計合わせ歳入・歳出ともに約13億円で決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて経理する特別会計は、国民健康保険（事業勘定、直診勘定）、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の9つがあり、24年度は、歳入が13億4825万円（2・1％増）、歳出が13億5538万円（2・8％増）となり、4287万円の黒字となりました。

平成24年度 財政状況

健全財政を維持

財政健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政健全化に役立てることを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、新しい財政指標の公表が平成19年度決算から義務付けられています。

この法律に基づき、毎年度4つの健全化判断比率（①実質赤字比率／②連結実質赤字比率／③実質公債費比率／④将来負担比率）および公営企業ごと（簡易水道・集落排水）の資金不足比率について、村監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しなければならないこととされています。

本村は全ての値が基準値を下回り、実質公債費比率および将来負担比率においては前年度より値が改善されていることから、健全財政を維持していることが分かります。

■財政健全化判断比率

指標	鮫川村の指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0％	20.0％
連結実質赤字比率	—	20.0％	40.0％
実質公債費比率	8.1％	25.0％	35.0％
将来負担比率	—	350.0％	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため「−」で表示
※将来負担比率は算定されないため「−」で表示

■実質赤字比率…普通会計（本村の場合は、一般会計および特別会計の村営バス事業、交流施設、学校給食センターが該当）の赤字額の収入（標準財政規模）に対する割合■連結実質赤字比率…全ての会計の赤字額の収入に対する割合■実質公債費比率…収入に対する公債費の割合。過去3年間の平均値を使用■将来負担比率…将来見込まれる負債（地方債の償還金や退職手当支給予定額など）の収入に対する割合

■資金不足比率

会計名	鮫川村の指標	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0％
集落排水事業特別会計	—	20.0％

※2つの会計ともに収支が黒字のため、資金不足比率は生じませんでした。



携帯電話エリア整備事業 8683万円

携帯電話の不通話地域を解消するため、平成24年度は青生野地区と荻ノ沢地区に通話設備（NTTドコモ・KDDI）を整備しました。



社会教育施設災害復旧事業 6,083万円

震災により被災した図書館の災害復旧工事を行いました。これまでの3階建てから2階建てに減築し、耐震面の強化とともに利便性が向上しました。



ふるさと林道緊急整備事業 1,519万円

酒垂地区と宝木地区を結ぶふるさと林道（林道酒垂宝木線）を整備しました。拡幅により、より安全に安心して通行できるようになりました。

高齢者・子どもインフルエンザ

予防接種費用を一部助成

村では、高齢者および子どものインフルエンザの感染、発病、重症化を予防するために、予防接種費用を一部助成します。

高齢者インフルエンザ

対象者　村内に住所があり居住し、接種日現在で満65歳以上の方

助成金額　2千円　※村からの費用負担は1回限りです。

対象期間　11月1日（金）～12月31日（火）　※期間外に接種した場合は、全額自己負担となります。

接種方法　事前に、かかりつけ医療機関に予約をしてから接種してください。その際、保険証などの年齢と居住地が確認できるものを持参してください。

子どもインフルエンザ

対象者　接種日現在で、村内に住所があり居住し、満1歳以上満18歳以下の方

助成金額　2千円　※年1回に限ります。

接種期間　11月1日（金）～12月31日（火）

接種場所　各医療機関　※事前に予約してください。

申請受付期間　11月1日（金）～平成26年1月31日（金）　※12月28日（土）から平成26年1月5日（日）までの期間は除きます。

申請方法　①各医療機関で予防接種を実施し、医療機関窓口で費用を支払ってください。その際、領収証は申請するまで保管してください。／②接種する際は、母子健康手帳の「接種歴」に記入してもらってください。／③役場住民福祉課健康係窓口に申請してください。

申請に必要なもの　▼領収証▼印鑑▼母子健康手帳▼貯金通帳（振り込みを希望する口座）

問　村住民福祉課健康係☎49-3112

仮設焼却炉事故の再発防止対策まとまる

10月25日に開催した「第8回仮設焼却炉監視委員会」で、環境省から村仮設焼却炉監視委員会に、8月29日に発生した主灰コンベア破損事故について、環境省内に設置された有識者委員会の指導・助言を踏まえた再発防止対策のまとめが報告されました。

報告内容は、仮設焼却施設全体の設備を総点検し、今回の事故の教訓に基づく再発防止の観点に加えて、そのほかの事故につながると考えられる危険源を網羅的に洗い出し、事故の再発防止に万全を期すため、追加的に実施する余地のある改良対策を講じるとしています。

また、仮設焼却施設の運転管理体制を強化するとともに、マニュアルや作業要領書、点検リストなどを見直した上で、経験豊富な指導者による教育、訓練を実施し習熟度を確認するとしています。

さらに、緊急時における村民への情報発信について、具体的な事例を記載した改善案を環境省から村監視委員会へ説明がありました。

村監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却炉周辺の空間線量を測定しています。なお、空間線量と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

■施設周辺の空間線量（10月25日実施）［μSv/h］

モニタリングポスト測定値

測定箇所	値
仮設焼却炉入口	0.12
青生野小学校	0.12
朝日山登山道入口	0.12
青生野肥育組合	0.14
鹿角平観光牧場	0.10

仮設焼却炉周辺の測定値

測定箇所	値
施設東側 120m	0.13
施設南側 120m	0.15
施設西側 120m	0.16
施設北側 120m	0.20
仮置場看板付近	0.10
石久保線起点	0.14
石久保線終点	0.14
和協管理棟付近	0.16

問　村地域整備課環境係☎49-3196

前売り券販売中

鮫川の郷土料理を楽しむ会

安心安全で新鮮な地元食材を使った郷土料理、ふるさとの味に親しんでください。郷土料理のほか、山際食彩工房の山際博美氏が鮫川村の食材を使って考えた料理や学校給食メニューなども味わうことができます。

日時　11月16日（土）正午～

場所　村公民館

入場料　▼未就学児童…無料▼小・中学生、高校生…200円▼一般…500円

前売り券購入方法　11月8日（金）まで役場企画調整課で前売り券（150枚限定）を販売しています。電話予約も受け付けています。

問　村企画調整課☎49-3115

作品を募集中

鮫川村フォトコンテスト

募集テーマ　鮫川村の四季を感じる風景　※村内の美しい風景や農村景観、年中行事などを撮影したもので、季節感がありカレンダー使用にふさわしいものを募集します。

作品受付期間　11月1日（金）～26日（火）必着

応募方法　応募用紙に必要事項を記入の上、役場企画調整課に持参または郵送してください。

応募規格　作品は横版で、カラー四つ切（ワイド可）またはA4版とし、平成24年1月1日以降に村内で撮影したもの

問　村企画調整課☎49-3115

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

9月14日～10月13日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
カボチャ	不検出			不検出			
サトイモ	不検出		不検出	不検出			
サツマイモ	不検出	不検出	不検出～7	不検出			
大根	不検出			不検出	不検出		
ミョウガ	不検出～8		不検出～12				
ブロッコリー		不検出		不検出	6		
白菜	不検出			不検出			
柿	6	不検出	不検出				
小豆	不検出	不検出～12					
栗		不検出～12	9	7～12		不検出	
梨						不検出	
千本シメジ				88			
シシタケ	852						199
ササモダシ	10～119						
ヤマメ							38
イノシシ肉	66				73	196	

■問い合わせ　村農林課☎49-3114

全国学校給食甲子園

地元食材を生かした献立で上位入賞を目指す

2年連続4度目の決勝大会出場

地産地消給食のおいしさや栄養価を競う「第八回全国学校給食甲子園」に村学校給食センターが北海道・東北ブロック代表として出場します。

二次審査までの書類選考を通過し、県代表に選ばれた同センターは、十月十四日に埼玉県で行われた「第八回全国学校給食甲子園地区代表表彰式」に出席。その席上で、決勝大会に進む十二施設が発表されました。今回は、全国から二千二百六十六の応募があり、同センターは二年連続四度目、大会史上最多の決勝大会出場となります。

今回応募した献立は、大豆を砕いたものを衣にまぶした「まめみそカツ」、豆腐や豆乳、野菜をふんだんに使った「彩りすいとん」、郷土食である「じゅうねんあえ」、ごはん、ミニトマトに牛乳。

「地域に残る給食」をテーマに献立を考えたという同センターの芳賀公美栄養技師。昔から食べられている「じゅうねんあえ」や村の特産品である大豆や豆腐、味噌などを使って考えた新しいメニューを組み合わせることによって、郷土食や地元食材の素晴らしさを再認識してもらい、食べ継がれていってほしいというねらいがあります。また、「彩りすいとん」は、村が毎年開催しているアイディア料理コンテストの平成十七年に汁物部門で最優秀賞を獲得した作品。村の取り組みを給食に取り入れることで、地域や村民が子どもの給食を作る一員になってほしいという思いがあります。子どもたちが考えたメニューを取り入れた昨年よりも、さらに視野を広げ一歩踏み込んだ試みです。



後悔のないように大会に挑みたい

決勝大会は十二月七日、八日の二日間、東京都で行われます。

大会には、芳賀公美栄養技師と鈴木ひろ子主任調理員が出場します。制限時間内に調理から片づけまでを行い、おいしさや栄養価、衛生管理などさまざまな観点で審査されます。

これから大会まで練習を重ねていく二人は、「後悔のないようにしっかりと準備をし、大会当日は落ち着いて精一杯取り組みたいです。そして、今年こそは上位入賞を果たしたいです」と意気込みを話してくれました。

大会当日の調理の様子などは、インターネットを利用した生中継が行われます。



上／決勝大会に挑む芳賀公美栄養技師（写真左）と鈴木ひろ子主任調理員（写真右）
下／第８回全国学校給食甲子園に応募した献立

moe・ryoku／緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記









1. たんがら作りに挑戦。緑川末治さん（内ヶ菊）に教えていただきました。
2. 「若葉のふるさと協力隊」として来てくれた友人と稲刈りを体験しました。
3. こっそり育てていたヘチマ。現在は、繊維を取るためにヘチマを腐らせている工程です。
4. クルミの殻で作ったストラップ。このほかにもいろいろな種類を作りました。

「モノづくりの秋」挑戦したくなる季節の到来

秋も深まり、木の葉も色づいてきました。先月まで田んぼで黄金色に色づいていた稲は、収穫されて真っ白なお米になっています。そんな秋の様子に、ウキウキと心を弾ませています。

秋らしく（？）いろいろなモノづくりに挑戦してみました。まずは、「たんがら」。公民館でやっていた「たんがら作り教室」に参加しました。そもそも竹細工自体が初めてなのに、いきなり「たんがら」を作ることは難しかったです。やり方を教えていただいても、なかなか思うようにきれいにできませんでした。かなり手直しをしていただきながら、なんとか形になりました。次に作ったのは、先月拾ったクルミの殻を使ったストラップ。クルミの殻が硬くてなかなか穴が開かず、穴あけドリルがほしくなりました。肝心のストラップですが、いいアイディアが思いつかず、とりあえずカエルをたくさん作ってみました。かわいいですよね？

三つ目は、今まさに作っている最中の「ヘチマたわし」。鮫川に来て「畑やらないの？」と、よく聞かれていたのですが、実は唯一育てていたのがこのヘチマ。ちなみに、種は自家採種したものを持参しました。二株しか芽が出なかったものの立派なヘチマができたので、たわしにするべく順次作業中です。

また、先日は西山地区の体育祭に参加しました。初体験の種目ばかりで、私はターゲットパークゴルフに挑戦させていただいたのですが、結局「戦力外」を言い渡されてしまいました。そのあと、火のつけ方が豪快で驚きましたが、参加者全員で食べた焼肉はおいしかったです。

「緑のふるさと協力隊」の短期プログラムとして「若葉のふるさと協力隊」があります。その「若葉のふるさと協力隊」として、友人が四泊五日で鮫川村に来てくれました。そして、田んぼのオーナーさんたちと稲刈りをさせていただきました。今回、友人は初めて、私は三回目の稲刈りに挑戦しました。一反歩だけでしたが、半日がかりの作業でした。二人そろってお米のありがたみをかみしめました。

facebook facebook はじめました。
「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」です。「いいね！」お願いします。

十月六日、赤坂西野区秋季祭礼。
熊野神社境内に地区の老若男女が集い、
恒例の「ふるさと相撲大会」が開催された。
大人の迫力ある取組や
観客を盛り上げたちびっこ相撲・・・。
普段は静かな鎮守の森に
この日ばかりは大きな歓声が響き渡った。

大人に負けじと、真剣勝負のちびっこ相撲







赤坂西野区ふるさと相撲大会
鎮守の森に歓声こだます







1　土俵を囲む大勢の観客。子どもから高齢者までが一体となり、祭りを盛り上げた
2　大相撲顔負けの取組を見せてくれた力士の皆さん
3　稲穂が黄金色に輝くころ、熊野神社に活気があふれる
4　迫力ある取組が次々と繰り広げられた
5　ちびっこ相撲の取組前に、見よう見まねで「清めの塩」をまく子ども力士
6　思わず応援にも力が入り、多くの声援や笑い声が響いた

里山の収穫を体験
東京農業大学景観保全活動


束ねた稲をハゼ掛けする学生

東京農業大学の第83回景観保全活動は10月12日、13日の２日間、村内で行われました。活動には、学生17人が参加。鈴木寛重さん（馬場）の指導を受けて、鎌を使った手刈りやハゼ掛けを体験し、昔ながらの収穫方法を学びました。

生徒たちの創意工夫が集結
鮫川中で「壇の岡祭」を開催



練習の成果が披露された合唱

鮫川中学校の学校祭「壇の岡祭」は10月19日、「輝跡」をテーマに行われました。意見文発表や英語弁論発表、学年ごとに総合学習で学んだことを披露。また、学級対抗の合唱コンクールが行われ、生徒たちの創意工夫がつまった学校祭となりました。

鮫川中男子が18位と健闘
県中学校体育大会駅伝競走大会


勢いよくスタートを切った一区

９月３日に西郷村台上コースで行われた「東西しらかわ中学校体育大会駅伝競走大会」で優勝し、県大会出場を決めた鮫川中の男子駅伝チーム。県大会は、10月２日に同コースで行われ、出場36校中18位（１時間０分49秒）と健闘しました。

２回戦で伊達市に惜敗
第７回福島県市町村対抗軟式野球大会


熱戦を繰り広げた選手たち

市町村対抗軟式野球大会に出場した鮫川村チームは初戦を突破し、９月29日に行われた２回戦に挑み、伊達市と対戦。１回裏に２点を先取しましたが、そのあと相手チームに逆転を許します。結果２対８で惜しくも敗れましたが、粘り強いプレーを見せました。

村政TOPICS

訓練の成果を披露
村消防団秋季検閲

鮫川村消防団の秋季検閲は九月二十九日、村青少年広場で行われました。

検閲に先立ち、赤坂東野字広畑地内十字路から青少年広場まで行進が行われ、防火を呼びかけました。

検閲には団員二百三十三人が参加。無火災祈願の黙とうのあと、統監の大樂村長が訓示を述べました。続いて、通常点検や中隊訓練、機械器具点検、ラッパ隊訓練などが次々と繰り広げられ、団員は機敏な動作で訓練に挑んでいました。

検閲終了後には、部対抗の放水訓練が行われ、第三分団六部（富田）が優勝しました。


観閲を受ける消防団員

ほっとニュース

雨にも負けず秋を満喫
第26回高原の鮫川うまいもの祭り

第26回高原の鮫川うまいもの祭りは10月20日、鹿角平観光牧場で開かれました。イベント開始後に雨が降るという、あいにくの天候となってしまいましたが、会場には村内外から多くの参加者が訪れました。

バーベキューをメーンに、特産品の出店がずらりと並び、鮫川村の「うまいもの」をアピール。特設ステージでは、丸太の早切りを競う「おらが与作だ！丸太早切り競争」をはじめ、アイドルグループ「CHANDOL（チャンドル）」のスペシャルステージ、モトクロス用のオートバイで空中技を競うフリースタイルモトクロス（FMX）のデモンストレーションなど多彩な催しが繰り広げられ、会場を盛り上げました。





上／観客を魅了したフリースタイルモトクロス
左／雨にも負けずバーベキューをする参加者

元気いっぱいに駆け回る
こどもセンター親子運動会

さめがわこどもセンターの親子運動会は9月28日、同センター園庭で行われました。

鈴木令子園長の開会宣言のあと、玉入れやカラーリレー、障害物競走などのおなじみの種目、クラスごとに工夫を凝らした種目を次々と披露。子どもたちは、家族の声援を受けながら元気いっぱいに駆け回っていました。

また、親子競技や全員で踊ったダンスのほか、小学生や高齢者などの競技もあり、思い出に残る楽しいひとときを過ごしました。





上／力を合わせてレッツゴー（親子競技）
左／おみこしわっしょい（幼稚園・さくら組）

村政TOPICS

東京都北区で物販
鮫川の魅力を発信

「王子銀座商店街・秋の味覚まつり」が九月二十九日、「ふるさと北区区民まつり」が十月六日に東京都北区の各会場で開かれました。

農協、商工会、村で構成する「ふる里振興協議会」が同イベントに参加。村内産の農産物や加工品などを販売し、鮫川村の魅力をアピールしました。

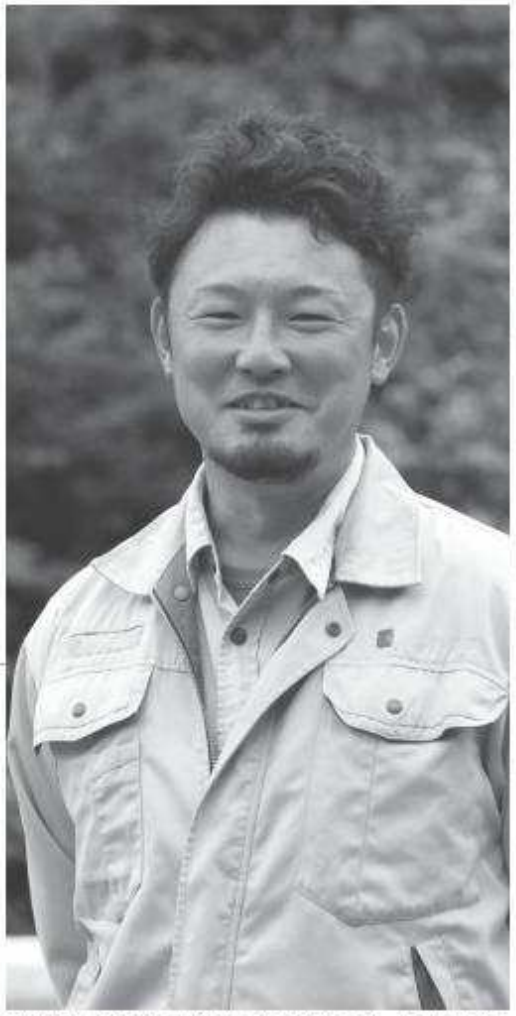
王子銀座商店街とは、平成八年にコンサルタント会社の紹介による交流が始まり、平成十八年には、そのつながりから「ふるさと北区区民まつり」に参加するようになりました。

今後も、都市と山村の立地条件の違いを生かして交流を進めていきます。



多くの来場者でにぎわった会場

NAOKI SEKINE



せきね・なおき●昭和55年６月生まれ。西山字水口在住。㈲花月庭園（赤坂西野）取締役。趣味は読書。座右の銘は「石橋を叩いて渡る」

村民【随想】リレー ―184

関根巨樹さん

「おかえりなさい」

現在、私は鮫川村商工会青年部の部長を務めさせていただいております。私たち青年部の歴史は、花火とともに歩んできたといっても過言ではないでしょう。現在の村長が始められた花火大会も今年で三十五回目を迎え、今年も皆さまのおかげで無事開催することができました。

震災後は、花火大会の継続についてたくさんの意見をいただいたこともありました。しかし、今まで途切れることなく続けてきたことは意義のあることだったと思います。それは、夏の夜空に年に一度の花火を上げることは、ふるさとに帰省される方にとって「おかえりなさい」と言ってあげることと同じことだと思っております。これが生まれ育ったふるさとにできる小さな恩返しだと感じております。

恵まれたことに青年部長の役職のほか、県南地区連絡協議会会長、福島県商工会連合会の副会長の役職もいただいております。地に足をつけ、まずは鮫川村の中から自分たちの想いを形にしていきたいです。そして、来年も皆さんに「おかえり」と言える自分でありたいです。

■

次は、生田目貞弓さん（赤坂東野字広畑）にバトンタッチ！

俳句

赤とんぼ火の用心の標語貼る　中井　恒峯
迷惑をかけまいと九十二才の秋　小松ハルエ
バインダー稲刈るリズム軽やかに　北條素人坂
峡の秋茶髪の案山子風に立つ　松本　精一
アケビ食む口に溢れる懐かしさ　前田　縫子
台風一過夕焼け残し北へ行く　斎須　信子
名月に一人の夕餉見つめられ　黒田　寿香
鼻っ風台風一過おき土産　土　竜庵
平泉義経伝説秋の旅　山本　恵子
峡の道曲るや蕎麦の花ざかり　鈴木　米子
誰を待つと秋海棠の花の列　山本五十鈴

短歌

ドクダミを採り来て干せば咽るよう匂いに慣れて干し竿返す　鈴木イミ子
弱腰の外交いつまで続くやら永田町は止めよ足の引き合いを　前田　初
母親より贈られし着物を宝とす今日も出しぬ虫干しの日に　佐藤　春枝
わが作る野菜の出来を噛みしめておれば近くにホーホケキヨの声　矢吹　定子
朝顔の花蔓伸びし舗装なる割れ目なれども取らずに咲かす　須藤　幸子
小松菜のみどりに宿る露の玉触れれば瑠璃に光りて落つる　水野　珠子

さめがわを彩る集い 20

大正琴を通して得られる交流と達成感



西山スマイル

関根悦子代表／会員11名

村内外で大正琴の演奏を披露している西山スマイル。宇津木先生（棚倉町）を講師に、月二回の練習をしています。

大正琴は、左手で鍵盤、右手で弦を弾いて音を出すため、初めは覚えるのに苦労したといいます。現在でも個人練習を欠かしません。「指を動かして頭も使うから、ボケ防止になる」という声も聞かれました。

活動を始めて約四年半、大正琴を通して、新しい友達と交流ができているほか、多くの達成感を得られています。「上手に演奏ができたときやお客さんが一緒になって口ずさんでくれたときがうれしいです。大正琴をやっていなかったら得られない経験だったと思います」と話す口調からは、楽しさが伝わってきました。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150

家族写真
（萩原浩著、講談社）



男手ひとつで育てた娘の結婚、加齢に肥満、マイホーム購入、父親の脳梗塞…。家族に訪れる悲喜こもごもは、ささやかだけど大事件。うっとおしいけどいないと困る家族、家族っていいなと思える短編集です。

おおやまさん
（川之上英子・川之上健著、岩崎書店）



いつもこわーい顔をしているおおやまさん。幼稚園バスの運転手さんです。ボスゴリラのように怒るっていうけど、本当かな？　でも、ぼくはある日、見てしまったのです。

第3土曜日は家族一緒に読書の日

新しき家の習いと思いつつ曾孫の伝う言葉噛みしむ　関根　瑞恵
考えの深さを友に認め来て今日も改むわが生き方を　清井　清乃
農の手は休む暇なし畑にはびっしりと立つ雑草のありて　坂本　伊紀
齢を経てわが生き方に修正のあれこれ数う誌を繰りにつつ　一平　子
八百人仲の一人の誇りなる希望も新たな敬老会に　石井　幸子
又来ると帰るその友土残し忙しく畑にと働くを知る　須藤シツエ
異常気象梅雨も明けずに秋風が黄金波打つ田の面をなでる　松本　一郎
一面の荒れ畑よりのススキ穂を供えて仰ぐ仲秋の名月　前田喜三子
あれこれと忙しき我か今日も又庭の花にも心を寄せて　関根ヨネ子
娘より退院の知らせほっとする電話片手に胸なで下ろす　藤田千代子
縁側に席を移して老い二人虫の音聞きつつ名月仰ぐ　関根ハナヨ
虫達の喜々と鳴きだす荒れ畑に立てば過去なる麦蒔き偲ぶ　関根　富久
仲秋の名月仰ぎ供えたるすすきに姉の面影の顕つ　板橋　源良
わが農もいつまでならん運搬車七十歳の今年購う　関根キヌ子
県民の心さかなで五輪受け原発発言水漏れ続くに　矢吹　一二
冷気呼ぶ仲秋の名月仰ぎつつ移ろう季節の早きを思う　北條　平



お孫さんの誕生日に作ったタペストリー。今でもお孫さんの部屋に飾られています。

あなたの光る技
キラり
Vol.16



一針一針に思いを込めて縫っていきます。好きだからこそ、いくら縫っていても苦にならないそうです。

パッチワーク
水野洋子さん
みずの・ようこ／赤坂東野字広畑在住／73歳

思い出つまった布をつなぎ合わせて作る過程を楽しむ

人形や服などを作ってくれたおばあちゃんの影響で、小さいころから裁縫が好きだったという水野洋子さん。平成八年に公民館事業で開かれた「パッチワーク教室」にも、すぐに申し込んだと言います。教室終了後も、参加者で「パッチワーク愛好会」を結成し、村の文化祭に出展するなどの活動を続けています。

材料となる布は、昔から家にあるものを使うのが好み。母親が着ていた着物や洋子さんが嫁入りの際に作ってもらった着物など、思い出がつまった布が作品に入っているとうれしくなるそうです。

布の材質や配色を考えることが、パッチワークの難しいところ。しかし、作品が仕上がったときの喜びはもちろんですが、作る過程で試行錯誤しながら作り上げていくことが楽しいと話します。

「納得できる物はなかなか作れません。まだまだです。今後は、女の子の孫二人がお嫁に行く前にベットカバーを作ってあげたいです」と目標を話してくれました。洋子さんの創作意欲が尽きることはありません。

若者の広場　No.107

Young Plaza

塩田貴史さん



しおだ・たかし
平成４年１月20日生まれ　21歳
B型　やぎ座
趣味は車いじり
石井草字森ノ前在住

自分には鮫川村が合っている

■今、夢中になっていることは何ですか？

車をいじるのが好きです。休みの日など、時間があると車いじりをしていることが多いです。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

元々、バス釣りをしていたので、今年はワカサギ釣りを始めてみようと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

やっぱり、鮫川村は緑が多くて自然豊かな所というのが一番です。人が多い場所や店などに並んだりすることが苦手なので、自分には鮫川村みたいな田舎が合っていると思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

鮫川村の悪いと思うところがないので、要望は思いつきません。あえて言うなら、遅い時間までやっていて、ちょっとした物が買えるコンビニのような店があるといいです。

■

次は、塩田弘樹さん（石井草字関ノ上在住）の予定です。

学校だより

（109）

青生野小学校編

海を満喫！いわき宿泊学習

九月十日、十一日に、全校生でいわき海浜自然の家へ宿泊学習に行きました。

一日目は、夕月かまぼこ工場でのちくわづくりや四倉海岸での砂の芸術、自然の家でのキャンドルファイヤーを体験しました。砂の芸術では、自分たちで考えたお城や鮫などの作品づくりに夢中になって取り組みました。二日目は、舟戸海岸での磯遊び。磯辺の生き物や珍しい貝を見つけて大興奮。全校生の絆が深まった二日間でした。



舟戸海岸で磯遊びを満喫

プロ選手、水沼さんが来たサッカー教室

十月九日に、サッカーの元全日本選手・水沼貴史さんをはじめ、スタッフ総勢十一名が青生野小学校に来校！

楽しく分かりやすいお話のもと、ボール遊びをしたり、パスやシュートの方法を教わったりしました。やはりプロの選手は違いますね。シュートする姿も格好いい。最後に、ボールや室内用ゴールポストなどのプレゼントをいただきました。これからも、体力づくりに取り組んでいきます。



水沼さんたちと記念撮影

（文・写真／青生野小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ 案内

平成26年版 農業日誌・ファミリー日誌・新農家暦を販売します

社団法人全国農林統計協会連合会発行の「農業日誌」「ファミリー日誌」、財団法人農林統計協会発行の「新農家暦」を販売します。購入を希望する方は、11月29日（金）までに役場農林課に申し込んでください。

発行は12月中旬ごろになります。申し込みいただいた方には別途通知しますので、代金持参の上、役場農林課でお受け取りください。

農業日誌（B6判）価格…1470円／内容…農作業の参考になる最新農業情報を掲載。楽しく読めて実用性抜群の農家に欠かせない一冊です。

ファミリー日誌（B5判）価格…1470円／内容…農業の記録や日々の思い出を一日の日記欄にたっぷりと記入できる大型サイズです。

新農家暦（A5判）価格…500円／内容…「12カ月暦」「農作業暦」「生活便利メモ」など、月ごとの農作業に役立つ基本情報が満載。豊かな内容で日常生活の座右の書となる一冊です。

問 村農林課農政係☎49-3114

チャリティーアート展

主催 社会福祉法人こころん（泉崎村）

日時 ▼11月23日（土）午前10時～午後5時▼11月24日（日）午前10時～午後4時

場所 生活支援センターこころん（泉崎村字下根岸）

内容 絵画教室受講者による作品展示、即売会、交流会など

入場料 無料

問 生活支援センターこころん☎0248-54-1115

精神疾患に理解を深める 精神障がい者家族教室

日時 12月6日（金）午後1時30分～午後3時30分

場所 塙町第2消防コミュニティーセンター

対象者 ▼白河市、東白川郡および西白河郡在住で、精神障がいのある方やその家族▼家族相談員▼こころの病を理解したい地域の方々など

内容 ▼精神障がいの理解と支援の方法▼支援のための社会資源について

参加費 無料

申し込み 11月30日（土）までに、「ウッドピアはなわ」まで電話またはファックスで申し込んでください。

問 NPO法人「ウッドピアはなわ」☎0247-43-2160（FAX兼）

8日は 歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

11月の担当は――
鮫川小学校
保健委員（5年）
水野谷雄大さん
田子　愛菜さん
坂本　愛花さん
中川西夢奈さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
固定資産税：第4期
国民健康保険税：第6期
介護保険料：第6期
後期高齢者医療保険料：第4期
※納期限：12月2日(月)

information

相談

行政書士による困りごと相談会

農地転用や国有財産払い下げなど、土地利用に関する相談、各種許認可申請、遺言・相続、成年後見制度についての相談など、手続きや暮らしの困りごとについて行政書士による無料相談会を行います。また、誰に相談するべきか分からない、依頼するべきか悩んでいるという方も気軽にご相談ください。

日時 12月8日（日）午前10時～午後3時受け付け
場所 村公民館
問 県行政書士会県南支部事務局☎0248-25-1100

女性の人権問題のための無料電話相談

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、11月18日から24日までの7日間、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、無料電話相談を実施します。なお、強化週間以外の平日においても、午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じますので、ご利用ください。

期間 11月18日（月）～24日（日）
時間 午前8時30分～午後7時 ※11月23日（土）、24日（日）は午前10時から午後5時まで
電話番号 ☎0570-070-810
問 福島地方法務局人権擁護課☎024-534-1994

原子力損害賠償手続き弁護士がお手伝いします

県では、原子力損害賠償について弁護士による法律相談を行っています。相談は無料で、事前予約が必要となります。請求手続きについて不明な点など、どんなことでも相談できますので、ぜひご利用ください。

日時 11月7日（木）、15日（金）、21日（木）午後1時30分～午後3時50分
場所 白河商工会議所
予約受付番号 ☎0248-23-1501（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）
問 県南地方振興局☎0248-23-1524

住宅

消費税引き上げに対応住宅取得に減税措置

平成26年4月から消費税が8％に引き上げられることが決定しました。

これを受けて、住宅取得の増税負担も大きくなるため、減税措置や給付金制度を実施し、負担軽減を図ります。これらの制度を正しく理解し、慌てずにマイホームを手に入れましょう。制度の内容など、詳しくはお問い合わせください。

問 すまい給付金準備事務局☎0570-064-186（土・日・祝日を含む午前9時から午後5時まで）

第24回

鮫川村民駅伝競走大会



村体育協会主催の「鮫川村民駅伝競走大会」が11月24日（日）に開催されます。大会は7地区体育協会対抗で行われ、福原集会所前をスタート、役場前をゴールとする10区間、21.17㎞のコースで競われます。村民の皆さんの応援をお願いします。

区	区間	走者	通過予定時刻
1	福原集会所前 ～ 中沢入口	女子フリー（中学生以上）	10:00
2	中沢入口 ～ 前沼バス停	30歳以上男子	10:09
3	前沼バス停 ～ 中学校入口	小学生フリー	10:16
4	中学校入口 ～ 役場前	小学生フリー	10:20
5	役場前 ～ 官沢入口	男女フリー（中学生以上）	10:25
6	官沢入口 ～ 岩野草入口	男子フリー（中学生以上）	10:30
7	岩野草入口 ～ 宝木・折戸中間	小学生フリー	10:41
8	宝木・折戸中間 ～ 西野区民センター	一般男子（小・中・高校生以外）	10:47
9	西野区民センター ～ 草牛入口	男子フリー（中学生以上）	10:56
10	草牛入口 ～ 役場前	男子フリー（中学生以上）	11:07
	役場前ゴール		11:18

問い合わせ　村教育委員会教育課☎49―3151

November
11

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
			11/1 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	2 ●商工・ＪＡまつり
5 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●子宮がん検診(午後のみ実施／対象：東石、富田、渡瀬、青生野)	6 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●手・まめ・館定休日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	7 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	8 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	9
12 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ]	13 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図] ●交通安全東白川地方大会…13:30～[ト]	14 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	15 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	16 ●鮫川の郷土料理を楽しむ会…12:00～[公]
19 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●やまゆり乳児室[こ]	20 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●10カ月児健診・お母さんの口腔健康相談 ●１歳６カ月児・３歳児健診 ●おはなしの森	21 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	22	23 勤労感謝の日 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●ふる里文化芸能クラブ発表会…9:30～[公] ●手・まめ・館感謝祭
26 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●鮫川村フォトコンテスト応募締切日	27 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●やまぶきの会…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	28 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	29 ●文化祭作品展示…[公]12月３日まで	30
3 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	4 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●手・まめ・館定休日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	5 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	6 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	7 ●お遊戯会[こ]

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

9月届け出分・敬称略



本郷（ほんごう）　勇人（はやと）・男
平25.9.3生
住所…落合
保護者…聡・苑可



小林（こばやし）　楓（かえで）・男
平25.9.11生
住所…伏木田
保護者…利之・真理



関根（せきね）　有翔（あると）・男
平25.9.28生
住所…大平
保護者…千弥・かおり

おくやみ

9月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
落合	我妻　佐利	9.5	66歳
世々麦	澤口　ノブ	9.6	89歳
石ノ花	矢吹　シン	9.17	80歳
鬼越	圓井　七蔵	9.29	58歳

人の動き

10/1現在・（　）は前月比

人口	3,921人	（－10）
男	1,967人	（－5）
女	1,954人	（－5）
世帯	1,166戸	（＋2）

寄付寄贈

9月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…我妻正紀(落合)　澤口和久(世々麦)
矢吹佳伯(石ノ花)　圓井咲子(鬼越)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

■訂正とおわび
広報さめがわ10月号の11ページ中、むし歯のない子に誤りがありました。「白坂春飛くん」ではなく、正しくは「白坂春翔くん」です。ここに訂正し、おわび申し上げます。

●編/集/後/記

■これまで15人の方に登場していただいた「むらの名人・達人」ですが、今月号からコーナー名を変更しました。それというのも、「名人・達人なんて、とんでもない」「好きでやっているだけ」など、皆さん謙遜し、取材を受けていただけない場合が多かったからです。■一人一人のキラリと光るものを見つけていきたいと思いますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。　---（前田）

ⓘ暮らしのカレンダー

日	月
3 文化の日 ㊡東白川中央病院(棚倉町)☎33-3263 ●第18回少年主張大会、第12回音楽発表会…9:00～[公] *第1日曜日は環境美化の日*	**4** 振替休日 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町)☎33-9468 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
10 ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145 ●親子読書教室…10:00～[図] ●火災防御訓練…6:30～／前折戸地内	**11** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●乳がん検診 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
17 ㊡大木医院(棚倉町)☎33-2424 ●第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	**18** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
24 ㊡和田医院(棚倉町)☎33-2012 ●第24回村民駅伝競走大会	**25** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●6～7カ月児健康相談…9:30～[保]
12/1 ㊡東舘診療所(矢祭町)☎46-3165 *第1日曜日は環境美化の日*	**2** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●固定資産税などの納期限

11 November 2013
平成25年11月1日発行（毎月1日発行）
第715号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県飯川村　編集／飯川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡飯川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_07

白坂眞平さん　節子さん

赤坂東野字広畑在住／昭和38年４月結婚

いとこ結婚の白坂夫妻。節子さんは埼玉県の出身で、初めは慣れない土地での生活に寂しさを感じたといいます。その中で、眞平さんの優しさや地域の人に支えられたと振り返ります。

眞平さんは自営で左官業、節子さんは役場に勤め、仕事と育児に無我夢中でした。「何だかんだ苦労したよ。苦労したから今があるんだ」と改めて50年の年月をかみしめます。

現在は、お子さんやお孫さんが来ることを楽しみの一つにしています。数年前に病気を患ったお二人は、「二人でやっと一人前。今まで以上に仲良く助け合って、そして、地域の人たちにも支えてもらいながら生活していきたい」と話します。

こちら 村長室

▼「身土不二」。人と土とは一体である。▼今年も村では豊穣の秋を迎えることができました。農業が基幹産業の村には多少の値上げより、豊かな稔りの方がうれしいのです。ただ、ＴＰＰ交渉で、農産物の重要五項目を「聖域」とした関税交渉が難航していると、不安な報道がされています。▼農業に誇りを持ち、安定した収入が得られる環境づくりに努めたいと考えています。国が目指す大規模化が困難な山間地域ではありますが、農業の持つ多面的機能が都市社会の環境改善に貢献していることに誇りを持ち、就農していただきたいと思います。▼人の命と健康は食べ物で支えられています。「食正しければ、病無し」といっても過言ではありません。村が目指す有機の里づくり、有機栽培された作物が、近い将来、不治の病のがんという問題を解決する答えになるのではと考えています。農業に希望と誇りを持ち、頑張りましょう。

大樂勝弘